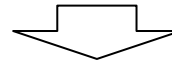


第3回松山駅周辺まちづくり審議会
協議概要

1. 第3回松山駅周辺まちづくり審議会の協議概要

第3回審議会は、これまでの審議会の内容を踏まえ、車両基地跡地の利用について、審議会として【(1)基本理念】、【(2)基本方針】、【(3)主要機能】の3点を取りまとめることを目的として議論を行いました。

	日時	議題内容
第1回	平成24年11月7日(水) 午後1時～午後4時	委員全員が意見できるよう考慮し、3グループにわかれてワークショップ形式にて協議を行いました。 協議内容は、『松山駅周辺にふさわしい施設や機能の抽出』について、グループごとに取りまとめました。
第2回	平成25年1月15日(火) 午後1時～午後4時	第1回と同様の形式で協議を行いました。 協議内容は、前回抽出した施設や機能から、『車両基地跡地に必要なものを絞り込み、施設のイメージとコンセプト』について、グループごとに取りまとめました。

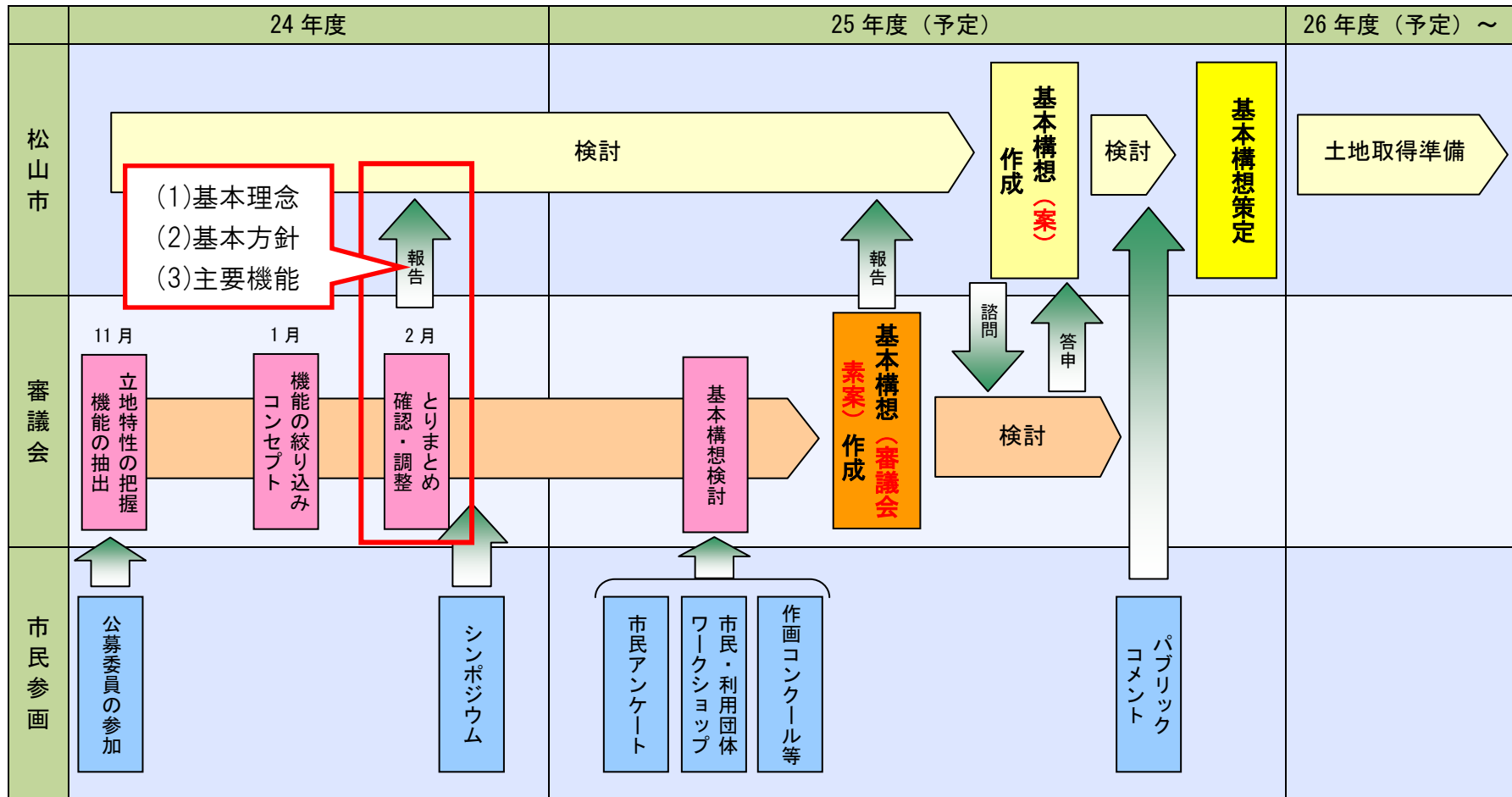


	日時	議題内容
第3回	平成25年2月7日(木) 午後1時30分～ 午後4時15分	前2回のワークショップの結果を踏まえた素案をもとに、委員全員が車座になって確認検討作業を行い、審議会として車両基地跡地の利用に関する【(1)基本理念】、【(2)基本方針】、【(3)主要機能】について取りまとめました。



また、審議会でも取りまとめた【(1)基本理念】、【(2)基本方針】、【(3)主要機能】については、次年度以降の跡地整備の計画につなげていく予定です。

車両基地跡地利用施設整備基本構想策定フロー



2. 第3回松山駅周辺まちづくり審議会の協議経緯（素案⇒協議⇒結果）

前2回のワークショップをもとに、委員全員が車座になって確認検討作業を行いました。

素案

【(1)基本理念】 ← 2回のワーク結果をまとめてみると・・・？

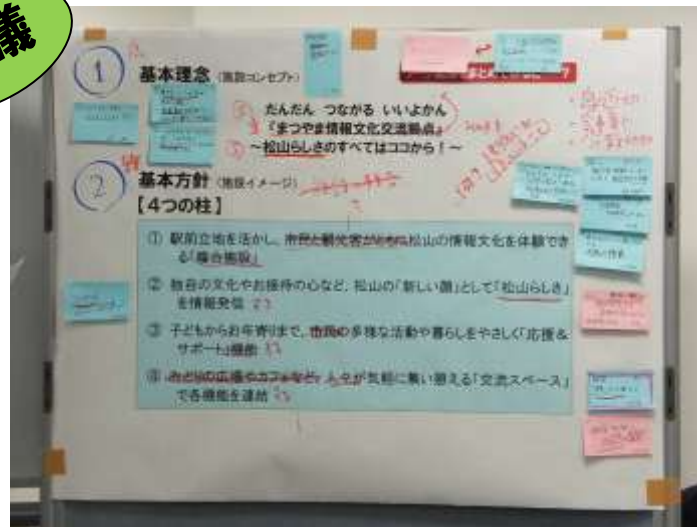
だんだん つながる いいよかん
『まつやま情報文化交流拠点』
～松山らしさのすべてはココから！～

【(2)基本方針】 ← 2回のワーク結果をまとめてみると・・・？

◆ 4つの柱

- ① 駅前立地を活かし、市民と観光客がともに松山の情報文化を体験できる「複合施設」
- ② 独自の文化やお接待の心など、松山の「新しい顔」として「松山らしさ」を情報発信
- ③ 子どもからお年寄りまで、市民の多様な活動や暮らしをやさしく「応援&サポート」機能
- ④ みどりの広場やカフェなど、人々が気軽に集い憩える「交流スペース」で各機能を連結

協議



素案をもとに付箋を使って、確認検討作業を行いました。

素案

【(1) 基本理念】

2回のワークショップから見てきたもの

だんだん つながる いいよかん
¹『まつやま情報文化交流拠点』
 ～松山らしさのすべてはココから！～²

協議

協議内容の概要

1. 『まつやま情報文化交流拠点』が施設機能を総称しているため冒頭の主タイトルとし、1行目と3行目を1行にしてつなげて連ねることで施設の目指す姿も伝わる。
2. 表現が長いとの意見もあったが、施設名称（愛称等）として今後の検討課題に。

結果

第3回での協議結果

『まつやま情報文化交流拠点』
 ～だんだん つながる いいよかん・松山らしさのすべてはココから！～

素案

【(2) 基本方針】

2回のワークショップから見てきたもの

【4つの柱】

- ①駅前立地を活かし、¹市民と観光客がともに松山の情報文化を体験できる²「複合施設」
- ②独自の文化やお接待の心など、松山の「新しい顔」として「松山らしさ」を情報発信
- ③子どもからお年寄りまで、¹市民の多様な活動や暮らしをやさしく「応援&サポート」機能
- ④³みどりの広場やカフェなど、人々が気軽に集い憩える「交流スペース」で各機能を連結

協議

協議内容の概要

1. 「市民が主役」である主要機能との整合性を図るため、“市民”や“観光客”など利用主体を特定する表現は統一削除。
2. 今まで議論してきた施設イメージは「複合施設（ハコ）」ではなく「施設の複合（機能）」の方が適切。なお、文末を統一する過程で結果として表現そのものを削除。
3. 具体的な施設例まで表現する必要はない。
4. 文末は体言止めではなく、「〇〇する」等の動詞で統一する。

結果

第3回での協議結果

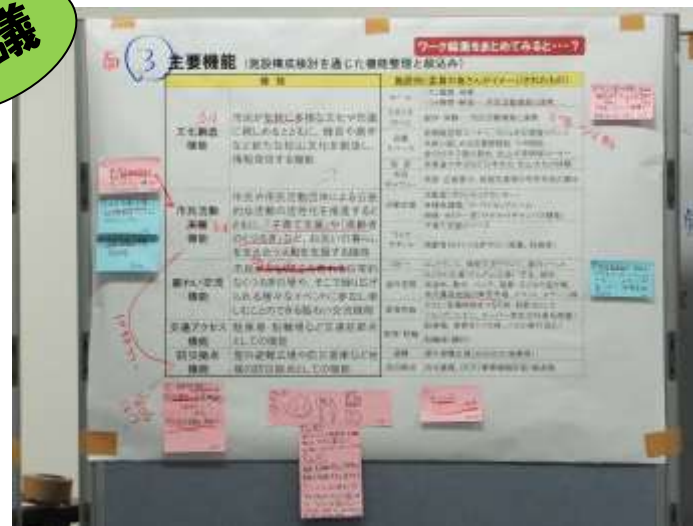
- 【4つの柱】
- ①駅前立地を活かし、松山の情報文化を体験⁴できる
 - ②独自の文化やお接待の心など、松山の「新しい顔」として「松山らしさ」を情報発信⁴する
 - ③子どもからお年寄りまで、多様な活動や暮らしをやさしく「応援&サポート」⁴する
 - ④気軽に集い憩える「交流スペース」で各機能を連結⁴する

素案

【(3) 主要機能】 ← 2回のワーク結果をまとめてみると…？

機能	
文化創造機能	市民が気軽に多様な文化や知識に親しめるとともに、練習や創作など新たな松山文化を創造し、情報発信する機能
市民活動支援機能	市民や市民活動団体による公益的な活動の活性化を推進するとともに、「子育て支援」や「高齢者のくつろぎ」など、お互いの暮らしを支え合う活動を支援する機能
賑わい交流機能	市民がぶらりと立ち寄れる日常的なくつろぎの場や、そこで繰り広げられる様々なイベントに参加し楽しむことのできる賑わい交流機能
交通アクセス機能	駐車場・駐輪場など交通結節点としての機能
防災拠点機能	屋外避難広場や防災倉庫など地域の防災拠点としての機能

協議



素案をもとに付箋を使って、確認検討作業を行いました。

素案

【(3) 主要機能 (その1)】

2回のワークショップから見えてきたもの

文化 ¹ 創造 機能	市民が気軽に多様な文化や知識に親しめるとともに、練習や創作など新たな松山文化を創造し、情報発信する機能
市民活動 ¹ 支援 機能	市民や市民活動団体による公益的な活動の活性化を推進するとともに、 ² 「子育て支援」や「高齢者のくつろぎ」など、お互いの暮らしを支え合う活動を支援する機能
賑わい交流 機能	市民が ³ 「ぶらりと立ち寄れる」日常的なくつろぎの場や、そこで繰り広げられる様々なイベントに参加し楽しむことのできる賑わい交流機能

協議

協議内容の概要

1. 基本理念に“交流拠点”とあるので、“交流”という表現を主要機能に入れるべき。
2. 「子育て世代」や「高齢者」への対応は、この施設に限ったことではないので、あえて表現する必要はないのでは？との意見もあったが、「など」という例示表現も付いているし、具体的な例を示した方が伝わりやすいという結論になった。
3. 「ぶらりと立ち寄れる」というほど駅に近接していないので、表現に違和感がある。よって削除することになった。

結果

第3回での協議結果

文化交流 機能	市民が気軽に多様な文化や知識に親しめるとともに、練習や創作など新たな松山文化を創造し、情報発信する機能
市民活動 交流 機能	市民や市民活動団体による公益的な活動の活性化を推進するとともに、「子育て支援」や「高齢者のくつろぎ」など、お互いの暮らしを支え合う活動を支援する機能
賑わい交流 機能	市民の日常的なくつろぎの場や、そこで繰り広げられる様々なイベントに参加し楽しむことのできる賑わい交流機能

素案

【(3)主要機能(その2)】

2回のワークショップから見てきたもの

交通アクセス機能	⁴ 駐車場・駐輪場など交通結節点としての機能
防災拠点機能	⁵ 屋外避難広場や防災倉庫など地域の防災拠点としての機能

協議

協議内容の概要

- 4. 他都市の事例では、敷地内駐車場を設置した場合、施設単体利用のみにとどまり、交流や賑わいづくりにつながっていないケースも多く見られる。駐車場と各機能の配置計画や連携には十分な配慮が必要。
- 4. 車社会ではあるが、近年の低炭素社会実現を目指すエコライフなどの動きも鑑みて、車による来館を少しでも減らせるような工夫も併せて必要との指摘もあった。
- 4. 上記のような協議が行われたが、内容を変更せず、今後の検討課題とした。
- 5. 防災機能は、非常時以外にも有効活用できるような工夫が必要である。
- 5. 上記のような協議が行われたが、内容を変更せず、今後の検討課題とした。

結果

第3回での協議結果

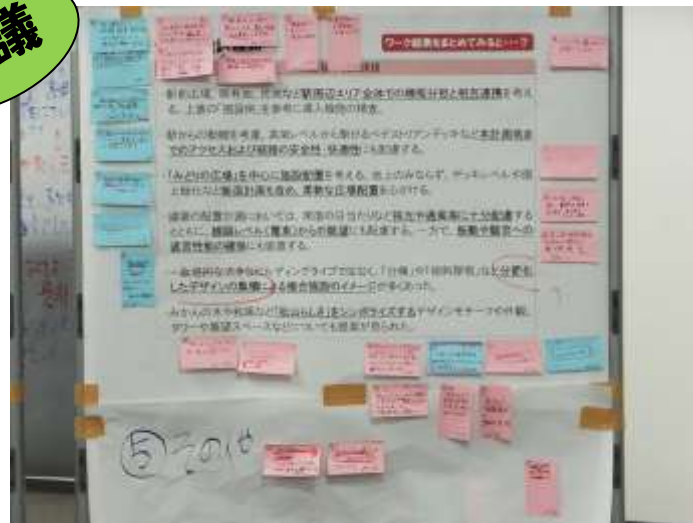
交通アクセス機能	駐車場・駐輪場など交通結節点としての機能
防災拠点機能	屋外避難広場や防災倉庫など地域の防災拠点としての機能

素案

【(4)今後の検討課題】 ← 2回のワーク結果をまとめてみると・・・？

- ・駅前広場、県有地、民地など駅周辺エリア全体での機能分担と相互連携を考える。上表の「施設例」を参考に導入機能の精査。
- ・駅からの動線を考慮。高架レベルから繋がるペDESTリアンデッキなど本計画地までのアクセスおよび経路の安全性・快適性にも配慮する。
- ・「みどりの広場」を中心に施設配置を考える。地上のみならず、デッキレベルや屋上緑化など断面計画も含め、柔軟な広場配置を心がける。
- ・建築の配置計画においては、南面の日当たりなど採光や通風等に十分配慮するとともに、線路レベル（電車）からの眺望にも配慮する。
一方で、振動や騒音への遮音性能の確保にも留意する。
- ・一枚岩的な大きなビルディングタイプではなく、「分棟」や「傾斜屋根」など分節化したデザインの集積による複合施設のイメージが多くあった。
- ・みかんの木や和風など「松山らしさ」をシンボライズするデザインモチーフや外観、タワーや展望スペースなどについても提案が見られた。

協議



素案をもとに付箋を使って、確認検討作業を行いました。

引き続き
検討**【(4) 今後の検討課題】**

これまでの2回のワークショップを通して提案された意見や今回の審議会で検討された内容については、「今後の検討課題」として、次年度以降も引き続き当審議会にて、本市の公共施設の状況や財政状況などを総合的に勘案しつつ検討するものとします。

今後の検討課題**【車両基地跡地と周辺との連携及び駅からのアクセスについて】**

- ・ 駅前広場、県有地、民地など駅周辺エリア全体での機能分担と相互連携
- ・ 本計画地までのアクセスおよび経路の安全性・快適性（高架レベルからのペDESTリアンデッキなど）
- ・ 駐車場と主要機能をつなぐ経路上の賑わい創出や、駐輪場などエコモビリティに配慮

【車両基地跡地の配置計画について】

- ・ 建築の配置計画においては、南面の日当たりなど採光や通風等に十分配慮
- ・ 線路レベル（電車）からの眺望に配慮。一方で、振動や騒音への遮音性能の確保
- ・ 「分棟」や「傾斜屋根」など分節化したデザインの集積による施設が複合するイメージ
- ・ 「みどりの広場」を中心とした施設配置
- ・ 地上のみならず、デッキレベルや屋上緑化など断面計画も含め、柔軟な広場配置
- ・ 松山市の自然特性を活かした街づくりを担うよう、広場空間には、並木や親水空間を配置

【施設設備について】

- ・ 水不足（漏水）に強い貯水機能
- ・ 防災機能は、非常時以外にも有効活用できるような工夫が必要

【「松山らしさ」のアピールについて】

- ・ みかんの木や和風など「松山らしさ」をシンボライズするデザインモチーフや外観、タワーや展望スペースなどの提案
- ・ 市民参画を通じ、「松山らしさ」の具体化（共通認識を持つ）

【その他の意見】

- ・ 交流機能としてホールを検討する場合、堀之内（史跡）にあり建替えできない市民会館のあり方や跡地利用なども検討
- ・ 景観軸を作れるような計画（建物の向きや素材の統一など）
- ・ 来年度以降、詳細設計、運営までの市民参加（施設が出来る前にプロセスを共有）
- ・ 松山駅自体の集客性